



岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和 4 年 4 月 22 日

岡 山 大 学

報道解禁：令和4年4月22日（金）午後2時（新聞は22日夕刊より）

武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン 追加接種（3回目接種）後副反応調査～中間報告～

◆発表のポイント

- ・岡山大学における大学拠点接種で行われた、武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン3回目接種後の副反応の頻度を評価する調査を実施。岡山大学教職員及び学生の合計1256人が調査に回答しました。
- ・接種後の副反応については、2回目接種後の副反応と比較し、局所反応・全身反応とも副反応出現割合は減少していました。また、年齢があがるほど、発熱の出現頻度は低くなりました。
- ・更に、6割程度の人は主観で2回目接種と比較して軽かったと答えました。

武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン3回目接種後の副反応の頻度を評価し、一般の方へ正確な情報提供を行うことを目的に、武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）後副反応調査を実施。中間報告では、2022年3月16日から2022年4月11日の間の調査回答分を集計しました。岡山大学に所属する教職員及び学生で、初回接種（1～2回目接種）で武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチンを接種した後、3回目に岡山大学拠点接種にて同ワクチンを接種した1256人が回答しました。回答割合は約34%となっています。

接種後の副反応については、以前行った大学拠点接種における武田/モデルナ社製ワクチン初回接種後副反応調査の2回目接種後の副反応と比較し、局所反応・全身反応とも副反応出現割合は減少していました。例えば、2回目接種後は37.5度以上の発熱は88.0%でしたが、3回目接種後は66.2%となっていました。3回目接種後の副反応は接種翌日まで続いた割合が最も高く、接種3日目以降まで持続する割合は低くなっていました。また、年齢別の比較では、年代別の回答者数の多寡により影響を受けていましたが、年齢が若いほど、発熱の出現頻度が高くなっていました。

3回目接種後の各局所副反応の強さを2回目接種後と比較してもらったところ、局所反応・全身反応とも、軽かったという回答が、重かったという回答より多くなっていました。また、副反応全般では、6割程度の人は2回目接種と比較して軽かったと答えました。

更に、ほとんどの人が自発的に3回目接種を受けており、過半数を超える人が身近な人にも接種を勧めると回答しました。

武田/モデルナ社製ワクチンは副反応の頻度の高さが心配されていますが、接種量が半分になったこともあり、3回目接種では2回目接種後と比べて副反応の頻度が少なくなっており、多くの方が副反応は軽くなったと回答していました。また、大体の副反応は接種翌々日には落ち着いています。接種を考える際の判断や準備の参考にさせていただきますと幸いです。



頼藤教授



PRESS RELEASE

■発表内容

＜現状＞ 武田／モデルナ社新型コロナワクチン接種3回目接種が国内でも進行中。

＜調査成果の内容＞ 別添資料参考

＜社会的な意義＞

新型コロナウイルスワクチン3回目接種が進行中ですが、若者世代での接種率はなかなか伸びない傾向にあります。そのような中、本調査は、対象が男女半々で若い方が多く含まれていることから、ワクチン接種における判断に有用な情報を提供するものと思われます。

■調査情報

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 HP に掲載

U R L : <http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=4923>

■補足・用語説明

岡山県の依頼を受け、岡山県内の5医療機関で協力し実施したファイザー社新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の副反応調査の最終報告も岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 HP に掲載しております。

また、大学拠点接種として岡山大学で行われた、武田／モデルナ社新型コロナワクチン初回接種の副反応調査の最終報告や接種1か月後調査の報告も上記 HP に掲載しております。

＜お問い合わせ＞

岡山大学学術研究院医歯薬学域

（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野）

教授 頼藤 貴志

助教 松本 尚美

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

准教授 萩谷 英大

岡山大学保健管理センター

助教 樋口 千草



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。